



令和元年 10 月 2 日
公立大学法人横浜市立大学
横浜市 金 沢 区

産官学連携ものづくり体験型イベント「Aozora Factory」 10月12日(土)@金沢産業振興センターグラウンドで開催！

10月12日(土)にLINKAI 横浜金沢(金沢臨海部産業団地)※₁の魅力発信を目的とした体験型イベント「Aozora Factory」を開催します。

9月9日に関東全域を直撃した台風15号により「LINKAI 横浜金沢」は大きな被害を受けました。地域企業が復旧に尽力する中、主催者であるNPO法人Aozora Factoryは横浜市金沢区の魅力発信や地域コミュニティの構築という活動目標に立ち返り、「LINKAI 横浜金沢が大変な時だからこそ、この地域に活気と元気を与えたい」という想いから、「Aozora Factory」を「LINKAI 横浜金沢応援イベント」と位置づけ実施することにいたしました。

本取組は、横浜市立大学の「教員地域貢献活動支援事業※₃」の一つとして、横浜市立大学芦澤美智子ゼミ※₂の学生及びLINKAI 横浜金沢の企業、金沢区の産・学・官連携により取り組んでおり、今回で6回目の開催となります。

ものづくり系ワークショップのほか、今年は金沢区の美味しい食や逸品を集めた「かなざわマルシェ」も併設します。都筑区からもものづくり体験「メイドインつづき～まち工場探検隊～」も参加します。

<Aozora Factory 概要>

目 時：令和元年10月12日(土) 10時～16時(予定) ※荒天時中止

会 場：金沢産業振興センターグラウンド(横浜市金沢区福浦1-5-2)
横浜シーサイドライン「産業振興センター」駅下車徒歩3分

主 催：NPO法人Aozora Factory

共 催：横浜シーサイドフォーラム、横浜市立大学芦澤ゼミ

後 援：横浜市経済局、横浜市金沢区役所

中止となりました

POINT

◆ LINKAI 横浜金沢の企業による

子供も大人も楽しめるモノづくり系ワークショップ

- ・職人の技を体験：中華街シェア1位を誇る鉄鍋作りの体験などのワークショップ。鍋を叩いて自分だけのオリジナル鍋が作れます。
- ・最新テクノロジーに触れる体験：電子工作やトイドローン、IoTを体験。プログラミングのワークショップなども出展予定。
- ・本格的な工具や材料に触れる体験：ものづくりの街ならではの電動工具や材料を使ったワークショップ

◆メイドインつづき～まち工場探検隊～

都筑区内の製造業によるものづくり体験ができます。

◆かなざわマルシェ

LINKAI 横浜金沢の工場で作っているお菓子や、地元農園で作っている新鮮野菜を直販するなど、意外と知られていない金沢区の美味しいものを生産者と会話しながら選ぶ楽しみを体験できます。

◆学生によるワークショップ運営

芦澤ゼミ「起業体験プログラム」の一環としてワークショップ全体運営を学生が「経営」します。



<昨年のように：学生がワークショップの中心となって盛り上げます>

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

お問い合わせ先

横浜市立大学 企画総務部企画財務課 企画担当課長 小松 利行 Tel 045-787-2405

金沢区役所 区政推進課長 八谷 将人 Tel 045-788-7720

(裏面あり)

参考

■Aozora Factory 開催実績

開催時期	会場	出展企業数	学生参加者数	ワークショップ参加者数
第1回 2016年10月	横浜金沢産業振興センター	13	70名	650名
第2回 2017年10月	横浜金沢産業振興センター	30	100名	1,000名
第3回 2017年12月	三井アウトレットパーク横浜 ベイサイド	6	50名	700名
第4回 2018年6月	三井アウトレットパーク横浜 ベイサイド	11	40名	600名
第5回 2018年10月	海の公園なぎさ広場	33	80名	1,600名

※参加者数については概数です。

※1 LINKAI横浜金沢(金沢臨海部産業団地)

1960年代から住工混在などの解消を目的に埋め立てられた、産業集積エリア。製造業、卸・小売業、運輸・物流業を中心に主に中小企業が多く集まり、1,000を超える企業・事業所が立地している。中でも、木材・金属・プラスチック等の加工業や、最先端のIT技術、食品製造等、多種多様な製造業企業が集結する、日本最大級の「ものづくりの街」。

平成28年度に横浜市と地元工業団体により策定された「金沢臨海部産業活性化プラン」の取組の一つとして、この地域に親しみやすい、新しい名前をつけることになり、平成29年12月「多くの中小企業が集積する環境の良いこの地域を、働く魅力のある、人が集まる地域にしたい」という思いから、「LINKAI 横浜金沢」に名称を決定した。(“LINKAI”には、臨海部の“臨海”の意味の他に、“LINK(絆/つながり)”と“AI(愛/合い)”の2つの意味がある。)

※2 横浜市立大学 芦澤ゼミ

国際総合科学部経営管理論専攻。2014年4月発足。「起業体験プログラム(主に出展等のプロジェクト毎に疑似的に起業する教育プログラム)」や海外フィールドワークなど、実践的な経営教育を重視して活動している。

ローカルは大学の地元にある金沢産業団地、グローバルはフィリピンセブ島や中国上海にフィールドを持ち、外部の方々と常に連携しながら活動している。これらのゼミ活動が学内外で評価され、2016年に学長奨励賞、2017年に神奈川4大学ビジネスプランコンテスト最優秀賞、2018年3月にStudent Awardなどを受賞している。

イベントの準備、実現のプロセスを通して学生が地域に入り込み、また、様々な連携関係の中から新しいアイデアを考え具現化させている。経営学を生きた学問として学び、社会に貢献する実感を得て主体的に成長することが期待される。

芦澤 美智子(あしざわ みちこ) プロフィール

横浜市立大学国際商学部(国際総合科学部経営学コース)／国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻准教授。博士(経営学)。1996年より公認会計士として会計監査、M&A財務監査等に従事した後、MBAを取得。その後、産業再生機構とアドバンテッジ・パートナーズにおいて企業再生に携わる。それらの経験を踏まえて、企業再生や企業変革について研究している。2013年の横浜市立大学着任後は、地域に関わりながら、地域(コミュニティ)の変革について研究を進めている。2014年M&Aフォーラム賞受賞。上場企業社外取締役やM&A第三者委員、横浜市の各種委員等も務める。

※3 教員地域貢献活動支援事業

横浜市立大学の教員の専門性や大学が持つ「知」のリソースを活かしながら、自治体・企業等から提案される地域課題を、調査・研究・社会実験等の活動を通じて協働で解決する事業。